

クローズアップ



建物外観

長野県立美術館

三野 孝次
(Koji Mino)

東芝エレベーター株式会社
北関東支社 営業第一部

脇澤 良徳
(Yoshinori Wakizawa)

東芝エレベーター株式会社
北関東支社 営業技術部

1. はじめに

長野県立美術館は1966年に「長野県信濃美術館」として開館し、50数年にわたり地域住民に愛されてきました。開館以来50数年を経て全面改築を行い、2021年4月「長野県立美術館」と名称も新たに生まれ変わりました。

新しい本館は、これまでと同じ善光寺ご本堂東側の城山公園（噴水広場）に立地しています。地下1階、地上2階（一部3階）建て、床面積約11,000㎡の建物を、ちょうど2階分（約10m）の高低差のある傾斜地に水平にビルトインする（造りつける）かたちとなり、桜の名所として知られる東側高台の並木道がちょうど屋上広場の高さになっています。このように建物が突出することなく風景の一部となるように、ランドスケープと建築を一体的に計画する「ランドスケープ・ミュージアム」として設計されました。

建物の屋上からは、堂塔伽藍（どうとうがらん）の建ち並らぶ善光寺周辺のみごとな景色や美しい里山の情景を見晴らすことができます。周囲の景観に溶け込みながら、これまでになかった歴史的、自然的風光をお楽しみいただける点が特徴となっています。

館内は充実した展示スペースのほか、無料で楽しめるゾーンも多く、誰もが気軽に訪れられる、公園のように自由な、まさに「開かれた美術館」となっています。

2. 建物概要

所在地：長野県長野市箱清水一丁目4番41号

建築主：長野県

設計：株式会社 プランツアソシエイツ

施工：清水建設・新津組建設共同企業体

建築用途：劇場等文化施設

敷地面積：16,199㎡

建築面積：5,767㎡

延床面積：13,192㎡（別館含む）

構造：RC造、一部S造

階床数：地下1階、地上3階

建屋高：10.76m

工期：2019年3月～2020年12月

竣工：2021年4月

3. 昇降機設備

昇降機設備は、エレベーター5台（荷物用2台含む）が設置されています。

メイン号機のNo.2号機（展望用）は、美術館の建物内の雰囲気に合わせて、エレベーター乗場、かご内ともにステンレスパイプレーション仕上げにて意匠を統一しています。また、かご内手すりには側面、背面ともに利用者が持ちやすい形状に設計されており、フレネルレンズミラーの採用と併せて、安全、安心にご利用いただける仕様となっています。

かごの天井照明については、ガラスクロス照明を採用し、開放感のある明るい空間を演出しています。

またかご内は大型ガラス窓を設けており、エレベーターかご内から善光寺を一望でき、長野県の四季の移り変わりを観賞することができる設計となっています。

各階乗場は、遠くからでもわかりやすい位置にホールランタンを設置しています。

昇降路内の壁についても建物内の色彩に合わせて、2トーンカラーで塗装されており、建物内と一体化した工夫がされています。

クローズアップ



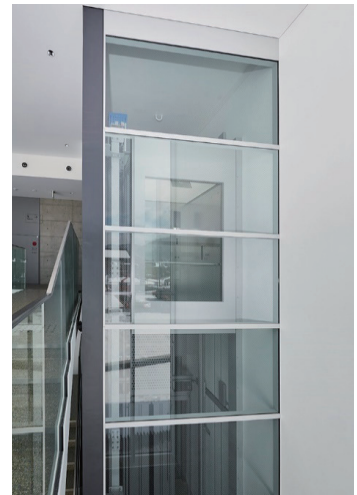
No.1 2階 乗場戸開時



No.1 昇降路



No.2 かご内



No.2 昇降路



No.2 2階 乗場戸開時



No.2 2階 乗場戸閉時

号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
No.1	乗用	インバーター	乗合全自動方式	2000	30	60	1	3(1~3)	東芝	車いす仕様
No.2	"	"	"	1000	15	60	1	3(B1、1、2)		展望用車いす仕様
No.3	"	"	"	900	13	60	1	2(1、2)		車いす仕様
No.4	荷物用	"	単式自動方式	5000	—	45	1	3(B1、1、2)		
No.5	"	"	"	1000	—	45	1	3(B1、1、2)		